

特定非営利活動法人印旛沼広域環境研究会
2023(令和5)年度事業計画(案)について

新型コロナ感染も完全とはなりません収束に向かっています。本年度は停滞していた活動を従来のように活性化させる一年と位置づけ活動してまいります。

昨年度、長年の課題であった笠井記念舟戸水草園アサザ池の掘起しを実施しましたが、アサザの移植は本年度の実施課題となりました。

かっぱ公園花壇の整備、水草バンクシステム参加校への訪問は例年通り実施します。また、会員勉強会・親睦会も実施したいと考えています。

特定非営利活動

I 水質浄化啓蒙事業

(1) 水草復元と親水性回復事業

- ①水草バンクシステム参加の各学校に生存している種類の繁茂に加え、インバモ、トチカガミの増殖した株を譲り受け、多くの学校に根付かせたい。又、印旛沼本体（ふるさと広場水草園）にお里帰りさせる学校を増やす。
- ②笠井記念舟戸水草園のアサザ池とスイレン池の整備。
掘起しの後深くなった池にアサザを移植する。

(2) 環境学習の支援事業

- ①水草バンクシステム参加校13校の訪問を継続する。
小竹小で、学校・まちづくり協議会と協力して活動を企画する。
- ②「親子で印旛沼体験」を実施する。
観察船、水質検査、講話などにより、印旛沼の良さを体験してもらう。

(3) 無洗米の普及事業

CO2排出量削減、沼にチッソ、リンを流さない、水の節約ができるなどBG無洗米の販売を継続する。

II 印旛沼地域との連携事業（パートナーシップ事業）

- (1) 印旛沼クリーンウォーク参加（佐倉市印旛沼環境推進事業） 10月
- (2) かっぱ公園花壇の花苗植付け、除草など整備。
- (3) ivusa（NPO法人国際ボランティア学生協会）との協働連携を深めたい。
- (4) ミウズ☆フェスティバル2023 6月
- (5) 「印旛沼わいわいサロン」の参加（大和田機場） 4月第1土曜日
- (6) 佐倉産業大博覧会への参加（草ぶえの丘） 11月11・12日
- (7) 佐倉野草会にて「水草とボランティア」講話 9月9日

Ⅲ 会員勉強会と懇親を深めるための行事の実施

第 17 回日帰りバス旅行（いちご狩りと勉強会）の開催

Ⅳ 刊行物（広報）

NPOいんばニュース第 35 号発行 100 部印刷

NPOいんば便り（A4 版 1 ページ）の発行 随時

ホームページの充実